こまどりケーブルからローカルな話題やエリア情報などをお届けします

12がつ コマド里

今月のコマド里は天川村のご紹介！

天川村は、紀伊半島中央部に位置し「天の国・木の国・川の国」と称され、村域の4分の1が国立公園に指定されている自然豊かな村です。また歴史も深く、約1300年前に役行者が修験道を開き聖地となり、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成しています。天川村にお越しの際はぜひ自然の中で築き上げられた歴史もご覧頂けたらと思います。

冬



大峯山　龍泉寺

【住所】天川村洞川494
【TEL】0747-64-0001

洞川の静けさの中に佇む大峯山龍泉寺。約1300年前に役行者が発見した「龍の口」の霊泉に始まり、修験者は今もここで身を清め、八大龍に道中の安全を祈ってから大峯山山上ヶ岳に登るため、洞川地区の修験道の一大拠点になっています。朱塗りの本堂と清らかな水行場、龍王の瀧。四季折々の原生林に囲まれたこの聖地は、世界遺産の霊場として訪れる人の心を静かに受け入れてくれる場所です。





天川村立資料館

【住所】天川村洞川674-1　【TEL】0747-64-0630
【休館日】火曜日　　【営業時間】10:00～17:00





龍泉寺の程近くに位置する天川村立資料館。資料館展示室には村の山仕事や日常生活にて使用されている曲げ物、陀羅尼助、山岳信仰の資料が展示されている他、大峯山から引き上げられたB-29のエンジンが展示されており、天川村の様々な歴史の一面を知ることが出来ます。また入口付近のギャラリーほのぼのでは企画展が開催され、お写経庵では心を落ち着けながら写経を体験することもできます。

山上ヶ岳歴史博物館

【住所】天川村洞川492-1
【TEL】0747-64-0001（大峯山龍泉寺）
【休館日】不定休
【営業時間】4月下旬頃から10月中旬までの日祝を中心に開館

村立資料館と同じく龍泉寺の程近くに位置する山上ヶ岳歴史博物館。「山の正倉院」とも称される大峯山寺の昭和の解体修理に伴う発掘調査で出土した宝物などを収蔵しています。金造の阿弥陀如来像・菩薩像のレプリカをはじめ護摩木の燃え残りを含む地層のレリーフや絵馬など、約1300年の祈りを今に伝える品々が並びます。







「金造阿弥陀如来像」と「菩薩像」のレプリカ

天河大辨財天社

【住所】天川村坪内107
【TEL】0747-63-0558

天川の清流に寄り添う天河大辨財天社は、日本三大弁財天の1つとして知られており、水の精・市杵島姫命（弁財天）を主祭神に、音楽・芸能の神様として古くから崇敬を集めている由緒ある神社です。役行者の大峯開山や天武天皇の祈祷にまつわる伝承が残り、弘法大師も参籠したと伝えられる聖地です。神仏習合の姿を今に残し、毎年能の奉納が行われています。拝殿前の五十鈴が響く境内は、静かでありながら強く心を揺さぶります。







栃尾観音堂

【住所】天川村栃尾





天川村西部、栃尾の集落にある栃尾観音堂には、江戸時代の遊行僧・円空が大峯修行の際に彫った4体の円空仏が300年もの間、大切に祀られています。聖観音菩薩立像を中心に、大弁財天女立像、金剛童子像、そして円空が初めて手がけたとされる護法神像が堂内には安置されています。いずれも穏やかな微笑みをたたえ、見る者に温かな親しみを感じさせます。

◆お問い合わせ先◆
天川村役場 企画観光課
TEL 0747-63-0321
https://www.vill.tenkawa.nara.jp/

◇◆◇編集後記◇◆◇
今月のコマド里は天川村をご紹介しました。天川村と言えば温泉が有名ですがその他にもよく耳にするのが洞川温泉トロッコです。村では面不動鍾乳洞へ向かうモノレール「どろっこ」として知られ、山の斜面を上がり鍾乳洞の入口近くまで連れて行ってくれる小型の観光モノレールです。見た目は丸太を思わせるデザインで山里らしい雰囲気があり、洞川の町並みを眺めることができ、体験型のアクセス手段として人気があります。そんな見どころたくさんな天川村を訪れてみてはいかがでしょうか♪
コマド里担当：Y